

視聴覚教育

NO.348

発行日
20.12.15

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

視聴覚用語

「トラフィック」

通信回線上で一定時間内に転送されるデータ量のこと。通信回線の利用状況を調査する目安となる。たとえば、「トラフィックが増大した」といった場合は、通信回線を利用するデータ量が増えた状態を指す。

「第二回 学生映画祭INいぶすき」報告

学習情報部長 大岡久芳

日本・ベトナム特別大使として、二国間の交流に尽力されている俳優の杉良太郎氏の発案により、昨年から始まった「学生（子ども）映画祭INいぶすき」（主催・学生映画祭実行委員会 共催・外務省・文化庁等）が、12月6日（土）、7日（日）の二日間にわたって、鹿児島県指宿市で開催された。岡崎市からも、作品を応募した小学生10名が参加した。

この映画祭は、学生（子ども）が、三分間の映画制作を通して、自らの心の深層と想いを伝え合うという趣旨で、ベトナムと日本の子供たちの交流の一環として開催されている。また、映像作品に込められた子供たちの心を真摯に受け止めて、子供たちがたくましく希望をもって生きていくための社会の在り方を、わたしたち大人が考えていくことも求められている。

一日目は、応募163作品の中から、ベトナムの子供の代表作品を含めて、一次審査を通過した

59作品が三つのブースで上映され、最終審査へのノミネート作品が選出された。各ブースでは、指宿市の子ども審査員と専門の審査員の方々が審査にあたられた。すべての作品について、丁寧なコメントを述べ、映像を通して交流を広げていこうという熱意が感じられた。岡崎市の小

学生の作品は、テーマの明確さ、カメラ操作や編集の技術の確かさなどから、どれも高い評価を受けた。二日目の最終審査（各賞の決定）13作品の中に岡崎市の小学生の作品が3本も選出されたことから、市内の小中学生のレベルの高さがうかがえる。ただ、映像そのものでメッセージを伝えるという原点とテーマを掘り上げるための表現方法の工夫を常に忘れないようにしたい。

二日目の最終審査（各賞の決定）では、現代社



会が抱える問題や自身の心、故郷の自然などをテーマにして、子供たちなりに表現した作品が上映された。岡崎市内の小学生の受賞者は次のとおりである。

優秀賞

「羽根大池の秘密をさぐる」 羽根小学校

五年 唐沢昇汰・堀田 大

入賞

「ムササビのひみつ」 生平小学校

六年 伊藤洸太郎・足利聖・伊藤はるか

入賞

「ダンゴムシのエコなつばやき」 六名小学校

六名放送局 四年生

なお、本映画祭は、来年度はミャンマー、ラオス、タイ、カンボジア、ベトナム、日本の六カ国参加の映画祭として実施され、再来年度第四回）には、アジア学生（子ども）映画祭へと規模が拡大される予定である。今後、岡崎市の子供が自分たちの直面する問題について、アジアの子供たちとの実際の交流をもとにして追究した三分間の映画も制作できるとよいだろう。



「実践報告」

「不審者対応」 自作ビデオを活用して

河合中学校 新 育大

不審者対応についての授業を現実味ある設定で行おうと考えた。

まず、「もし今、この学校・教室に不審者が入ってきたり、入ってこようとしていたりしたら…」と問いかけた。その後、不審者侵入の場面を撮影した自作ビデオを視聴させた。

先生たちの自作自演ということと映像に流れる景色が見慣れた風景であることから、生徒たちは真剣に画面に見入っていて、「怖い」というつぶやきが多かった。

そこでもう一度「もし今、この学校・教室に不審者が入ってきたり、入ってこようとしていたりしたら…」と問いかけ、グループで話し合させた。「後ろのドアから入ってきたら、すぐ前のほうへ逃げる。」「先生がいらない放課だったらどうする。」「誰が職員室に知らせるのか。」「廊下でばったり出くわしたら…。」「運動場へは、どのルートで避難するか。」「など、いつもより活発な話し合いが行われた。具体的な対応策が多く発表され、不審者対応について真剣に考える授業となった。来年度も有効利用していきたい。



「レッツ・トライ」

「キューブキッズ」で効率のよい合奏指導

学芸会の器楽合奏曲を悩んでいたときに、キューブキッズの「音楽」で楽譜を見つけた。「サンブル曲」の中に全学年共通教材や「くるみ割り人形」、「ベートーベン交響曲第九番」など有名な曲も入っている。早速、中学年の児童が得意そうな楽曲を選び、実際に学芸会で演奏した。

このソフトの利点は、まず、楽器を変更したときのハーモニーを確認できることだ。弦楽器や金管楽器を児童が演奏できそうな電子ピアノや木琴などに変えて、音の重なりを確認できる。次に、1パートのみの演奏を聴くことも可能なため、パソコンで音やリズムを聴かせてパート毎に自主練習をさせられる。一人で全パートの指導をどう効率よく行うかが大きな課題だったが、パソコンを使用したことで、児童が個別指導を待っているという無駄な時間をなくすことができた。2パート、3パートでの演奏を聴くことも可能であり、他の楽器の音色と自分の楽器の音色の重なり合いを確認することもできる。速さを変えることもでき、ゆっくり練習したいときにも有効だ。

本校にはまだキューブキッズ2のソフトがないため、『2』はもつと使い勝手がよいのではないかと思う。集会や6年生を送る会など、行事の出し物に困ったときには、キューブキッズをのぞいてみるのも一手である。



(夏山小学校 学習情報主任 井上 清美)

ライブフリーだよ

年度初めより自作教材制作委員会で制作を進めていた自作教材作品が最後の仕上げの段階に入っています。それぞれの作品は、小中学校の授業等で学習を具体化するために役に立つものになっています。作品のタイトルは次のとおりです。なお、これらの作品は全て複製して、2月の学習情報主任会にて各小中学校に配付予定です。積極的に活用をお願いします。

- A班「酒造りを守る 女性蔵人の挑戦」
(ビデオ教材 対象 中学3年 公民)
- B班「地域のために何ができるか」
〜 鋳物メーカーの挑戦〜
(ビデオ教材 対象 中学3年 公民)
- C班「わたしにできること」
〜 菜の花がたなぐ環境保護の輪〜
(ビデオ教材 対象 小学5年 社会)
- D班「菌のはたらき〜生活に役立つ菌類」
(ビデオ教材 対象 中学3年 理科)
- E班「Water Misso Girls」
〜 徳川家康杯にかける青春〜
(ビデオ教材 対象 中学英語)
- F班「土地のつくりと変化」
〜 岡崎市誕生の秘密〜
(マルチ教材 対象 小学6年 理科)
- G班「パトロールへ出勤〜安全を守る仕事〜」
(マルチ教材 対象 小学3・4年 社会)